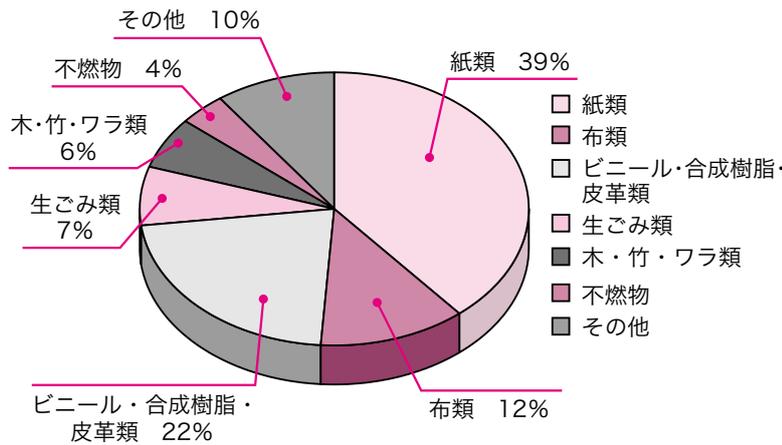


雑がみも大切な資源です!

皆さんのご家庭から出される可燃ごみの中には、多くの紙類が含まれています。その中で、特に多く見受けられる雑がみは、分別することで資源としてリサイクルすることができます。

可燃ごみの組成



可燃ごみに出された紙類のすべてをリサイクルした場合、可燃ごみの量は今までの5分の3に減少します。

平成20年度の可燃ごみ量は11,418トン。うち、紙類の量は11,418トン×39%=4,453トンです。

⇒可燃ごみとして出されている紙類をきちんと分別することで、多くの可燃ごみが減量できます。



「雑がみ」とは?

「雑がみ」とは、新聞・雑誌・段ボール・紙パック以外の紙類のことです。



菓子箱等



包装紙



レシート



衣類などについていたタグ



紙袋



トイレットペーパー等の芯

その他、はがき・封筒・メモ用紙など。

※はがき・料金明細など個人情報を含むものについては、可燃ごみとして出しても構いません。

注意!

次のものは「紙類」として出せません!!

- 食品や洗剤等の汚れや匂いがついた紙製容器
- 紙コップなどの防水加工紙
- 金・銀加工を施した紙

次のものは紙類に混ぜないでください!!

- 粘着テープ
- 金属・プラスチック製の器具
- 雑誌等に付随しているCD、商品サンプルなど



紙袋に入れる



雑がみがでないよう
しばって出す



ひもでしばりづらい小さな
雑がみがたくさんある場合



雑がみを折りたたんで雑誌
等の間にはさみこむ



はさんだ雑誌は、他の雑誌類と
一緒にひもでしばって出す

レジ袋の無料配布中止によるレジ袋の辞退率について

7月1日から実施しているレジ袋の無料配布中止に伴い、各店舗の辞退率は以下のように変化しています。

事業者名	6月平均	7月	8月	9月
ジャスコ常陸大宮店	13%	81%	83%	84%
エコス山方店		75%	75%	76%
カスミ常陸大宮店		79%	81%	83%
かわねや大宮店		80%	81%	82%
スーパーヒロセヤ大宮店		78%	82%	84%
スーパーふじの		96%	96%	95%
カドヤ常陸大宮店		79%	80%	81%

7店舗の7月から9月の辞退率の月平均は83%となりました。

3カ月間の合計でレジ袋90万枚、重さにして6,300kgの削減となり、二酸化炭素に換算すると、約54,000kg-CO₂が削減されたこととなります。

今後ともマイバッグの持参にご協力をお願いします。

